

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和5年度 第4回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2023年7月21日(金) 午後3時30分から午後5時40分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：15人(総数21人) 出席者：畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、甲斐副会長、 徳江委員、甘粕(勇)委員、飯森委員、阪井委員、 藤原委員、小原委員、近藤委員、山口委員、岡田委員、 福島委員、桐生委員 事務局：6人 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松
都市マスタープランの改定に伴う意見交換 (計画建築部都市計画課)	<p>(1) 藤沢市都市マスタープランについて</p> <p>都市マスタープランについて事前配布資料を基に概要を説明。令和7年度の改定に向け、2ヵ年に渡り検討を行っていききたい。</p> <p>[委員] 資料に記載の少子高齢化社会への突入は、片瀬地区のことなのか市全体のことなのか。</p> <p>[都市計画課] 片瀬地区は、元々高齢化が高い地区となっており、年齢別の人口の比率からすると少子化の傾向がある。</p> <p>[委員] 高齢化率は以前から高いことは知っているが、青少年関係の役員をしている中で、子どもが少ないというイメージがなかった。</p> <p>[都市計画課] 令和2年の市全体の65歳以上の人口割合は、24.9%、片瀬地区は28.7%。14歳以下の人口割合は、市全体で13.3%、片瀬地区は11.2%。20年後の令和22年の14歳以下の人口割合は8.4%程度になる想定。</p> <p>[委員] 都市マスタープランについての意見交換は今後継続してまちづくり協議会の全体会で行っていくのか。また、意見交換は他の地域団体等とは行わないのか。</p> <p>[都市計画課] これから令和7年度の改定まで年間3回から4回程度の意見交換を行い、プランを作り上げていきたい。まず、現況の課題などの確認を行い、最終的には方針や地区の将来像について検討していきたいと考えている。</p> <p>また、意見交換については、まちづくり協議会の全体会で行い、改定案が出来上がった段階でパブリックコメントや片瀬地区内で説明会を開催していきたい。</p> <p>[委員] すばな通りでは、電柱地中化の要望を数年前から市に出し、</p>

<p>都市マスタープランの改定に伴う意見交換 (計画建築部都市計画課)</p>	<p>市としても実施に向けて検討していただいていると思うが、毎年4月になると担当職員が変わり、毎回同じ説明を受ける。事業の進捗状況はどのようになっているのか。市全体で取り組んでいただきたい。</p> <p>[都市計画課] 進捗状況は把握していない。</p> <p>[委員] 理念が書かれているが、具体的なことは書かれていないので分かりづらいという印象だった。災害発生時における観光客の避難対策などが示されていない。また、片瀬山市民の家の再整備にあたり、検討会議を行っているが、当初、災害時の防災機能を有した複合施設としての整備を市に申し入れたが、単独の市民の家になりつつあることを危惧している。</p> <p>[都市計画課] 都市マスタープランは理念を記載したものとなる。前回の改定からこれまでの間に発生した課題などを今後盛り込んでいきたい。</p> <p>(2) 藤沢市交通マスタープランについて</p> <p>市や片瀬地区の状況等、アンケート結果などをまとめた内容について説明を行い、意見交換を行った。</p> <p>[委員] 小田急藤沢駅の再整備が始まっていることから駐輪場が不足している。駅前での用事を済ますのに少しでも駐輪できれば便利だが、注意を受ける。有料駐輪場は常に満車で駐輪できない。また、藤沢駅に行く途中の自転車が通行するスペースが狭く、道路と歩道間の路肩を走ろうとすると舗装が荒れており、走りづらい。</p> <p>自転車通行帯にトラックが駐車しており、通行に支障が生じている。</p> <p>[都市計画課] 自転車通行帯について、通行帯に車両が駐車しておりマナーが守られてない場面を見たことがある。</p> <p>[委員] スパナ会館裏の駐輪場は有料化になる前はたくさん駐輪していたが、有料化後はほとんどいなくなってしまった。</p> <p>[委員] 以前、モノレール駅裏に無料の駐輪場があったが、みんな自転車を置いて行ってしまふ。今の自転車は安価で販売しているものもあり、使い捨てるようにしてしまっている。そのような状態がなくなっただけだと感じている。</p> <p>[委員] スライド5番目の交通量の減少について、片瀬地区は観光客の移動もあり、減っている様に感じていないがどのように捉えているのか。</p> <p>[都市計画課] 観光客の移動に関する調査も含まれており、片瀬地区は、他の地区と比較して移動の減少は少ない傾向にあるが、在宅勤務やネットショッピングの発達等により減少している。</p> <p>[委員] モノレールに自転車に來ている人はどこに駐輪しているのか。</p> <p>[委員] 放置自転車禁止区域内に駐輪しているとすぐに回収されてしまっている。</p> <p>[委員] 自転車通行帯等は、学校や子どもの多い場所などを中心に、</p>
---	--

	<p>安全確保を目的に設置できるよう考えてほしい。</p> <p>〔都市計画課〕自転車走行空間の整備については、今回の交通マスタープラン改正に合わせてサイクルプランの改訂作業も同時に検討を進めている。</p> <p>〔委員〕片瀬山地区は高齢化が進み、買い物がとても大変である。</p> <p>〔委員〕自転車は基本的には歩道は通っていけない。老人や子どもが通行する場合は押して歩くのが基本。しかし、車道を走るにしても今の状態では走りづらいため、自転車が走りやすくなるような計画としてほしい。</p>
報 告	<p>3 報告（資料1）</p> <p>（1）前回全体会について 議事録の確認</p> <p>（2）各部会等からの報告 時間の都合上、広報ワーキンググループ以外の活動は、当日配布資料での確認を依頼。質疑等は後日、事務局まで。</p> <p>ア 広報ワーキンググループ 片瀬地区ポータルサイトの見直し状況について説明。これまで、最新情報が団体ごとに表示されていたが、下部にある団体の新着情報が見てもらえない可能性が高いため、投稿した順番に新着状況が表示されるようにしたい。 地域回覧の内容について、藤沢市のホームページにアップロードされているので、リンクを設定した。また、ゴミ収集日程カレンダーを載せ、暮らしの便利情報をプラスしている。 今後の更新について、事務局、地域団体の方などで運営ができるように呼びかけを行っていきたい。</p> <p>（3）地域団体からの報告 自主防災協議会から片瀬地区総合防災訓練への参加について、呼びかけを行った。 それ以外の報告については、時間の都合上、資料参照。</p>
議 題	<p>4 議題</p> <p>（1）令和5年度の活動について 資料2 “若い人が参加したくなる地域づくり” アンケート</p>
議題での検討事項・意見	<p>（1）アンケートについて 〔事務局〕スライド資料に基づき、アンケートを依頼する内容の概要について説明。地区レクリエーション大会やふれあいまつりでの配布を検討。また、アンケートの集計結果を分析し、地域回覧や地区集会での意見交換等を行う中で地域団体の活動に反映させていきたい。</p>

議題での検討事項・意見

主な意見

- [1] 内容が漠然としている。若い人が参加してもらいたいようにもっと具体的な内容を聞いた方が良い。
- [2] 地域団体の認知度について、青少年支援フォーラム、江の島振興連絡協議会、片瀬地区商店会なども含まれているが、これらの団体に対して住民が何か関心を持ち繋がることのできるなら良い。
- [3] 地域活動の一番基本的な接点は自治町内会活動である。
- [4] 団体名の認知度を聞くのではなく、地域団体が行っている各種事業などの活動を併記すればわかりやすくなるのでは。
- [4] 若い世代に質問するのであれば、普段はどこで遊んでいるのか。片瀬のどこが好きなのか。地域の情報は何かから得ているのか。などを聞いたほうが良い。
- [5] 地区レクリエーション大会は全年齢が参加でき、過去も参加したことがある事業で認識されていると思うが、敬老会は83歳以上にならないと参加できない事業となるので、アンケートに記載するのはどうか。
- [5] 若い世代の定義は結果としてどのようになったのか。参加してみたいイベントなどを聞いてみるのも良いのではないか。
- [6] 地域団体の認知度はアンケートをもって知ってもらうという意味でもとっても良いのでは。まちづくり通信は、地域活動に参加したことのある人は読んでいるが、それ以外の人は見ていないと思う。
- [7] アンケートで聞きたい事を詰め込みすぎているのかもしれない。
- [8] しつこくなってしまうが、団体名など繰り返し記載することで地域団体の名前を知ってもらうことも必要なのでは。
- [9] QRコードを活用してのアンケートを基本として、周知のチラシを全戸配布し、地区レクリエーション大会やふれあいまつりの際にも補完する観点で配布していきたい。
- [10] アンケート結果を、手が欲しい地域団体に結び付けられればよりより良いアンケートとなると思う。
- [11] 地域団体には所属していないが、子どものいる若い世代で活動しているグループもある。今回のアンケートでどのような活動をしているか聞き取りをすることで、将来のまちづくりに結びつけば良いのではないか。
- [12] 若い人に質問するのではれば10年後ではなく、今のことを聞いても良いのでは。また、片瀬地区に限らず市全体の広い視点を取り入れても良いのではないか。
- [13] 地域活動も無償ではなく、有償のボランティア活動になれば若い人も集まるのではないか。

<p>議題での検討事項・意見</p>	<p>(2) ふれあいまつりについて [事務局]ふれあいまつりの準備の進捗状況について説明。コロナ前と比較し、模擬店の出店が少ない状況となっているため、まちづくり協議会として、活動のPRも兼ねて模擬店の出店について提案。出店にあたっては、公募委員を中心に協力を依頼。今年度は、試験的に行っていききたい。 [委員] 模擬店のテント立ては、スポーツの会の役員が中心となっているが、負担が大きい。 [事務局] テント立てについては、ボランティアを募るなどし、負担軽減を図っていききたい。 [委員] 模擬店の出店内容は、各地域団体の出店状況を考慮し、重複しないよう配慮していききたい。</p>
<p>6 その他</p>	<p>6 その他 (1) 藤沢市防災アプリ「ハザードン」の周知 [事務局]市防災政策課でアプリを配信したことを報告。 主な機能は、災害に関する情報のほか、見守りの機能があり、最大5件場所が登録でき、遠方の家族が住んでいる地域の情報等を得ることができる。</p>
<p>次回までの確認事項</p>	<p>8月の全体会では、アンケート、ちらしを確定する。</p>
<p>次回会議開催日時・場所</p>	<p>全体会 日時 2023年8月24日(木) 午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール</p>